

第12期 事業計画

2020年9月1日～2021年8月31日

公益社団法人
日本サードセクター経営者協会

I 基本方針

サードセクター組織の経営の責務を負う人材が広く地域や事業の種類を越えて連帯し、互いに知見を学びあい(つなぐ)、経営力を高め(伸ばす)、さまざまな提言活動を行う(提言すること)により、もってわが国が直面する多くの社会的課題の解決に向けて、サードセクター、企業セクターならびに行政セクターが、それぞれ適切な役割を果たす多元的な社会の実現を目指すことを目的としています。

1. 事業に関する方針

サードセクター組織の経営者の能力開発事業(つなぐ事業)

少子高齢化、過疎化等の社会情勢の変化に伴い、地域や社会の課題は多様化、複雑化、深化してきています。ところが、政府・行政の財政制約も相まって、地域に必要なサービスが継続的に提供されなくなるおそれが高まってきています。こうした状況の下、地域における社会的課題について、民間活力を活用して解決することの重要性が増大し、現状、多様なサードセクター組織がこうした課題に対応したサービスを提供し活動しています。サードセクター組織の経営者がテーマ別や地域別に部会を立ち上げ、経験を交流することで、より社会のニーズの合ったサービスの提供ができるように支援します。さらに、次世代メンバーが先輩サードセクター組織の経験を学ぶ機会をつくっていきます。

サードセクター組織の自立的・効率的経営に向けた支援事業(伸ばす事業)

地域や社会の課題を解決するために、各々の地域に必要なサービスが継続的に提供していく必要があります。法人12期は、地域を支えるサービス事業主体のあり方について検討を行い、支援をしていきます。具体的には、現状のサービス提供の取組に多種多様なものがあることから、それらの整理・類型化を行います。テーマ型だけではなく、新たな地域型サードセクター組織の起業支援・経営支援を行いその基盤強化を支援し経済性と社会性を両立する主体となることを念頭に、支援していきます。

また、新型コロナウイルスの影響により社会課題自体がより深刻化していますが、同時にこれらを解決するためのサードセクター組織の活動もまた、対面や濃厚接触が必要であるために活動が困難になってきています。サードセクター組織が従来からの活動を強化するだけでなく、感染拡大を抑止しながら成果をあげられるような「新たな様式活動」を編み出していく、支援を行っていきます。

サードセクターの在り方に関する調査、研究と提言事業(提言する事業)

サードセクターを構成する各種非営利法人や協同組合あるいは社会的企業等の実像、および経営者の実態を把握するための、これまでの調査結果を参考に、全国の好事例を調査します。特に、主権者としての市民が地域や社会をよくする活動を実践するためには、地域内分権の仕組みを確立させることが重要であると考え、新しい地域運営組織の発掘と、新たな組織改革へと意欲のある地域運営組織の調査を行います。

2. 運営に関する方針

本部と東海支部が連携し、全国の連携先とのネットワークを活かしながら、日本全国でのサービス展開を図り、JACEVO の理念実現に向けて活動していきます。

II 事業計画

1. つなぐ事業

(1) 入会促進活動の実施

JACEVO は法人設立以来全国各地で起業支援を行ってきた実績があり、そのサードセクター組織がたくましく成長してきました。そのリーダーが次世代を育成できるように会員拡大を目指していきます。

期間: 通年

目標: 延べ 80 名

(2) 年次大会の実施

多様化・複雑化する地域の課題に基礎自治体が単独で対応するには限界があります。特に人口減少・高齢化・過疎化が進展した中山間地域等では、実力のある企業や NPO なども十分に存在しません。そこで地域運営組織への期待が高まっていますが、成果をだしている組織は少ない状況です。そのような状況においても、地域資源を活用し成果を生み出している好事例を紹介し、新しい地域型タイプのサードセクター組織としての地域運営組織について、情報を発信し、議論を深めます。

期日: 2021年2月

活動目標：参加者 50 名程度

(3) 部会活動の促進

会員同士の自発的な動きにより部会開催(テーマ別・地域別)を促していきます。とくに、これまでに JACEVO が起業支援をした全国の起業家や会員の交流を通じ、さらに次世代などとの交流が深まるような取り組みをしていきます。

期間: 通年

活動目標: 東京都大田区、愛知県名古屋市において定期的な部会活動の実施

(4) facebook、メルマガによる情報発信

会員のみならず、サードセクターの形成、政府・行政セクターとサードセクターとの関係のあり方に関心をもつ専門家、研究者、政府・行政関係者、企業に対しても、サードセクター組織の活動紹介や経営者の紹介、サードセクターの経営に関する情報、政府・行政への提言活動や制度や法律の改正などについて、情報を発信していきます。

期間: 通年

(5) HP の運営

JACEVO設立の趣旨と活動の本旨を伝えるための HP の充実を図ります。また、JACEVOが起業支援、経営支援をおこなってきたサードセクター組織の活動、経営者の想い、その成果を発信していきます。

期間: 通年

2. 伸ばす事業

(1) 地域社会雇用創造事業

- ・起業支援、人材養成の iSB公共未来塾を開催します。

期日: 2020年10月、2020年12月、2021年2月

活動目標: 参加者各10名程度

- ・iSB公共未来塾特別セミナー「贅沢な読書会」を開催します。

当協会の代表理事の後房雄、田島誠一、理事の今村正治が本を紹介し、サードセクター組織の経営者が集まり自主的な研究会としていきます。

期日: 2か月に1回程度

活動目標: 参加者各5名～10名程度

(2) フルコストリカバリーセミナー事業

フルコストリカバリーの必要性を啓発するためのセミナーを開催します。iSB公共未来塾のカリキュラムの中で行っていきます。

期日:2020年10月、2020年12月、2021年2月

活動目標:参加者各10名程度

(3) セミナーの実施

サードセクター組織の経営者が直面する課題や必要とする情報などを中心に捉えたセミナーを開催します。

期日:2020年9月、2020年11月

活動目標:参加者各10名程度

(4) 講師派遣事業

サードセクター組織の経営、政府・行政とサードセクターの関係、サードセクターの法律、制度の関係などについて、政府・行政セクター、企業セクター、サードセクター、教育機関等に対し講師を派遣します。

期間:通年

活動目標:5組織

(5) コンサルティングの実施

サードセクター組織の経営力強化のため、JACEVOおよび JACEVO 認定コンサルタントによる、サードセクター組織への個別コンサルティングを実施します。

休眠預金を活用し、with コロナ時代に感染症の専門家や、ITの専門家と連携し、新しい活動様式を編み出す支援をしていきます。

期間:通年

活動目標:30団体へのコンサルティング

新しい活動様式:12団体

(6) サードセクター組織コンサルタント養成事業

個々の組織に対して寄り添い支援としておこなう個別コンサルティングは社会的価値と経済的価値を創出するサードセクター組織の基盤強化、成果志向の経営には不可欠です。JACEVOが活用している、ツリー型ロジック・モデル・シート、ビジネス・モデル・シートの作成支援ができるコンサルタントの養成を行っていきます。

期間:2021年5月

活動目標:JACEVO認定コンサルタント5名輩出

3. 提言する事業

(1) サードセクター形成状況調査

地域や社会の問題を解決している、もしくは持続可能なビジネスモデルを構築している一多様な事業体の訪問調査を行う。

期間:2020年9月～2021年5月

目標:セミナーなどでの調査結果の報告、HPにて活動紹介

(2) 政府・行政との政策研究会

町内会・自治会と連携を取りながらも、自律した意思決定ができる、新しいタイプの地域型サードセクター組織(地域運営組織)の必要性や、支援の在り方について、基礎自治体と意見交換を行います。

期間:通年

目標:年2回程度

(3) 政府・行政などへの提言活動

政府・行政の政策や制度について調査し、サードセクター組織を含めた広範な主体が基盤を強化し、公共サービスの担い手となりうるインフラ整備等について提言していきます。

期間:通年

活動目標:政府・行政への提言3回

以上